

クリストフ・ソーターの

「ビヤーンヴェニュー・アン・スイス」



トーマス・ラーセン先生の訪問

5月26日から31日までスイスのエシュ市国立小学校に勤めている先生が鏡野町を訪れました。始めて来日したラーセン先生が、鏡野町でホームステイを体験したり、町内の全ての小学校を視察しました。学校訪問の際に、田植えと習字を体験し、日本文化にも触れることが出来ました。世界の様々な国の教育制度を研究するため



に、ラーセン先生が5月上旬にスイスを出発し、ロシア、中国、日本、そして、カナダの小学校を視察しました。日本に来る前に訪れた国でも興味深い経験ができたそうですが、今回、先生に日本についての感想を聞いてみました。

Q. 日本についてどんな印象をお持ちですか？

A. 日本はスイスと似ている所が多いと思います。優しい人々と草木の緑が多くて、清潔で治安が良い国です。日本人のもてなしと日本料理の美味しさに対して、びっくりしました。

Q. 鏡野町の小学校を訪問してどう思いますか？日本の教育制度はスイスの教育制度とどう違いますか？

A. ペスタロッチは、子供が大人の半分ではなく、価値のある人物だと思っていました。それは、鏡野町の小学校で強く感じました。子供たちは大切にされているし、先生は熱心に教えています。



Q. スイスに帰ったら、鏡野町で集めた情報で何をするつもりですか？

A. まず報告書を書きたいと思います。そして、報告することで、鏡野町で体験したことや見たことをスイスの先生に伝えたいと思います。

Q. 日本の子供についての感想は？

A. 子供たちは世界中で同じであり、素直で好奇心が強く、人間の最も豊かなものです。

Q. 日本でホームステイを体験しましたが、どうでしたか？

A. 日本人の気前ともてなしの良さに対して驚きました。厚く歓迎して下さった3つの家族に感謝しています。

Q. また日本に来たいと思いますか？

A. はい、今度は家族で来たいと思います。

Q. 最後に一言お願いします。

A. 鏡野町で体験できたことと感じたことは大変良かったです。鏡野町の方々が熱烈な歓迎をしてくださり、心から感謝申し上げます。

これからも、お元気で頑張ってください！



トーマス・ラーセン先生、ありがとうございました。

この6日間は、私にとって楽しくて忘れられない体験でした。ラーセン先生と一緒に6日を過ごしなが、鏡野町の各小学校で興味深い訪問ができ、鏡野町の小学校をよく訪れる私は、まだ見ていなかった普通の授業を見学し、日本の教育制度についての知識を増やすことが出来ました。

鏡野町の方々、ホストファミリーの皆様、そして小学校の先生方には大変お世話になり、心から感謝しています。これからもよろしくお願いします。

それでは、今回のフランス語の言葉は「S'il vous plait スィル・ヴ・プレ」「ください」です。例えば、「Un café s'il vous plait! アン カフェスィル・ヴ・プレ」は「コーヒーを一つください」を意味します。

また来月お会いしましょう。